

ハイチ共和国

JICAの取り組み

～すべての人々が恩恵を受けるダイナミックな開発～



ハイチにおける JICA の取り組み

独立行政法人 (JICA) は、日本の政府開発援助 (ODA) を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「すべての人々が恩恵を受けるダイナミックな開発」というビジョンを掲げ、多様な援助手法のうち最適な手法を使い、地域別・国別アプローチと課題別アプローチを組み合わせ、開発途上国が抱える課題解決を支援しています。

ハイチは一人当たりの GNI が 820 ドル (2014 年、世界銀行) に留まり、西半球の最貧国です。長年にわたる政情不安や度重なる自然災害により、基礎社会サービスの欠如をはじめ、多くの開発課題を抱えています。

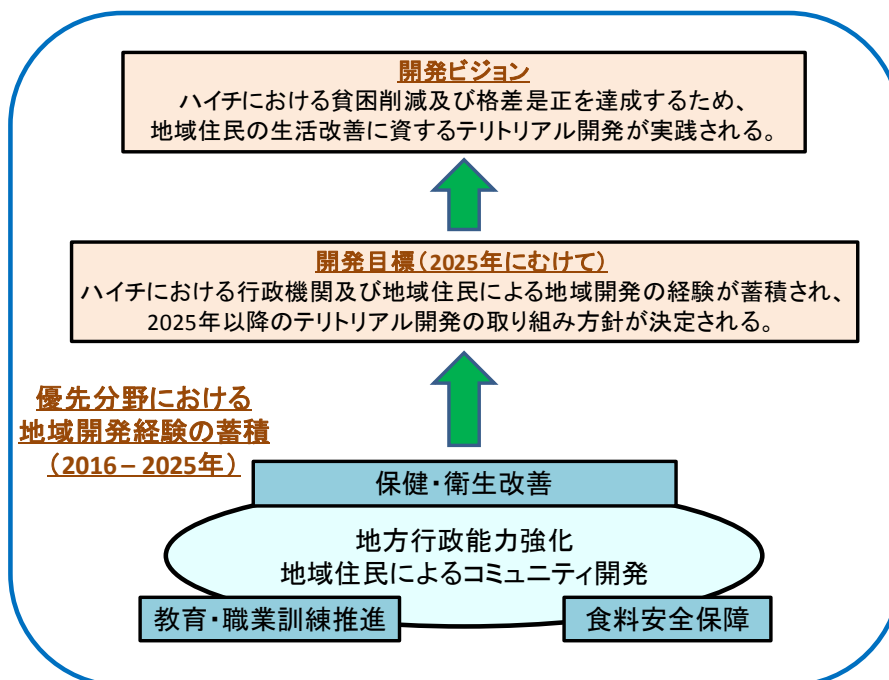


(地図: ©Nations Online Project)

ハイチにおける JICA 事業実施地

対ハイチ JICA 協カプログラム方針

JICA は、ハイチで 2010 年に発生した震災後の復興支援にとどまらず、同国の開発に向け、継続して支援を展開していきます。JICA は、震災以前からの課題である、ハイチにおける貧困削減及び格差是正を達成するため、地域住民の生活の改善に資する開発を推進すべく、「保健・衛生改善」、「教育・職業訓練推進」、「食料安全保障」分野における基礎的な社会サービスの確立に向けて重点的に協力を実施していきます。



協力重点分野：保健・衛生改善

地方部の保健医療インフラ整備と技術協力との組み合わせにより、保健サービスの質の改善に取り組みます。また、給水システム等のインフラ整備を行うことで、喫緊の課題であるコレラ等の感染症対策を含めた衛生環境の改善を目指します。



(写真：建設中のジャクメル病院)

＜予防接種強化計画＞

ハイチにおける乳幼児死亡率は 1000 人あたり 76 人ときわめて高いことに加え、適切な医療用品の入手が困難な状況にあります。本支援は、感染症リスクの軽減、そして、ミレニアム開発目標における「5 歳児未満の死亡率の低下」の達成に向け、予防接種体制の整備に寄与することを目指し、予防接種用ワクチン、予防接種関連機材の供与等を行いました。

無償資金協力

- ・南東県ジャクメル病院整備計画
- ・予防接種強化計画(ユニセフ連携)
- ・中央県におけるコレラ対策強化計画(ユニセフ連携)

個別案件(研修／専門家派遣)

- ・母子保健(モロッコにおける第三国研修)
- ・保健医療分野(課題別研修)
- ・放射線画像診断技術向上(ドミニカ共和国における第三国研修)
- ・保健人口省技術アドバイザー

＜南東県ジャクメル病院整備計画＞

2010 年の大地震により、南東県のジャクメル病院の施設が損壊し、テントや木造の仮施設等を使用して医療活動を行っていました。本協力では、同病院の中核となる周産期、中央診療棟の建設と付随医療機材の整備を支援します。このような協力を通じて、ジャクメル周辺地域の基礎社会サービスの確立を目指し、劣悪な診療環境改善と保健医療サービス向上に寄与します。施設整備については、カナダ赤十字と連携して実施しています。



写真：レオガン市修復のための給水システム復興整備計画

協力重点分野：教育・職業訓練推進

地方部の学校インフラを整備するとともに、教育の質向上に資する技術協力・研修を展開します。また、職業訓練について、ハイチの復興・開発の担う人材の育成を支援します。



(写真：ハイチ教育関係者の研修発表)
(写真提供：埼玉大学)

＜中央県及びアルティボニット県 小中学校建設計画＞

ハイチでは、基礎教育第3 サイクル(7-9 学年)の就学率が特に低く、ドナーによる教育分野の支援も第1・2 サイクルに重点が置かれてきています。このような状況下、JICAは、中央県及びアルティボニット県において教室等の増築・改修、学校備品の整備により、第1・2 サイクルにとどまらず、第3 サイクルも含めた基礎教育の学習環境改善を目指す事業形成調査を行いました。同事業の実施を通じて、基礎教育サイクル児童・生徒の就学率向上への寄与が期待されています。

国別研修

- ・教育復興・開発セミナー(国別研修)
- ・人材育成分野(課題別研修)

協力準備調査

- ・中央県及びアルティボニット県小中学校建設計画

技術協力プロジェクト

- ・算数副教材作成支援プロジェクト

個別案件(研修／専門家派遣)

- ・教育政策アドバイザー
- ・職業訓練校能力強化(ドミニカ共和国における第三国研修)

＜ハイチ教育復興開発セミナー＞

ハイチは、中南米で最も教育が立ち遅れている国です。日本で開催された本セミナーでは、ハイチ教育関係者である研修員が日本の教育経験を学び、理解を深め、帰国後の活動・業務にその成果を生かすことが期待されました。研修員は、自国の教育復興・開発上の問題点、解決策を特定し、活用の可能性を検討し、研修成果の活用計画を立案しました。帰国後、研修員各自が、ハイチにおける教育の復興と開発の推進に寄与することを目指し、全国各地の教育の現場にて活躍しています。



(写真：食糧援助見返り資金で建設されたパラデル高校)

協力重点分野:食料安全保障

自然環境に配慮した持続可能性のある農業生産性の向上、及び自然災害や近年の食料価格高騰の影響を受けている貧困層の食料自給率の向上を目指します。



(写真: PROAMOH 研修修了者への技術指導)

〈貧困農民支援: 2KR〉

ハイチでは、肥料の流通量が不足し、農家が十分な肥料を購入できない状況が続いています。2KRは、肥料調達資金供与を通じて、農作物の生産性向上に寄与することを目指します。1985～2007年まで実施された同スキームによる支援によって、ハイチ側の事業実施機関である農業天然資源地域開発省との密接な協力体制が構築されました。また、農民組織を通じた肥料の販売ルートも確立され、地方部における小規模農家の肥料へのアクセス向上にも寄与しました。

技術協カプロジェクト

- 農業技術研修コースプロジェクト (PROAMOH)
- 農業技術者能力向上プロジェクト (PROAMOH 2)

無償資金協力

- 食糧援助 (KR)
- 貧困農民支援 (2KR)

個別案件 (研修/専門家派遣)

- 地域社会開発を目指した食料自己生産・アグロテクノロジーと食料政策 (PROHUERTA)
- 食料安全保障プログラム技術アドバイザー

〈農業技術研修コースプロジェクト:

PROAMOH〉

PROAMOH は、農業普及体制と普及員能力の向上を通じた小規模農家の持続的農業技術習得・適用、農業生産改善、食料安全保障向上が目的です。官民セクターから選考された研修生は、隣国ドミニカ共和国 ISA 大学で、約5週間の研修を受け、帰国後の普及活動に習得知識・技術を生かしています。国連南南協力 EXPO2012 では、優れた取組みに贈られる「ソリューション賞」を受賞しました。



(写真: 小規模農家向けの PROAMOH 研修風景)

復興のための基盤整備

無償資金協力

- レオガン市修復のための給水システム復興整備計画
- レオガン市復興のための市街地道路整備計画
- クロワデミッション橋梁及び新線橋梁掛け替え計画

個別案件 (研修/専門家派遣)

- 大地震後復興研修 (国別研修)
- 防災分野 (課題別研修)
- 日本メキシコパートナーシッププログラム (JMPP) による地震対策

開発計画調査型技術協力

ハイチ復興支援緊急プロジェクト



(写真: 修復されたレオガン市の給水所)

〈レオガン市復興のための

市街地道路整備計画〉

2010年に発生した大地震の被害が最も大きく、建物の90%以上が倒壊したレオガン市街地において、道路の舗装・側溝の整備と排水路の改修を支援し、交通の改善と衛生環境の向上を図りました。また、被災した地域住民を雇用して工事を行うことにより、住民の生計向上に配慮しました。

JICA ドミニカ共和国事務所 (ハイチ国所管在外事務所)

Av. Sarasota No.20, Edificio Torre Empresarial AIRD
Piso 7, La Julia, Santo Domingo,
REPUBLICA DOMINICANA
Tel: (1-809) 381-0005
Fax: (1-809) 381-0048
URL: <http://www.jica.go.jp/dominicanrep/>

JICA ハイチフィールドオフィス

Ritz Hotel Appt No 11, Imp des Hotels,
Rue Panamericaine, PV,
HAITI
Tel: (509) 3103-8289